



# ストレージを管理します

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp  
January 31, 2025

# 目次

ストレージを管理します	1
ストレージを追加します	1
ストレージシステムを管理	3
設定されているストレージタイムアウトを変更します	5

# ストレージを管理します

## ストレージを追加します

VM をバックアップまたはリストアする前に、ストレージクラスタまたは Storage VM を追加する必要があります。ストレージを追加すると、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere が vCenter でバックアップとリストアの処理を認識して管理できるようになります。

- 使用する GUI

VMware vSphere Web Client を使用してストレージを追加します。

- サイズの大きい LUN

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.5 以降では、ASA アグリゲートで最大 128TB の大容量 LUN サイズのデータストアがサポートされます。大規模な LUN の場合、SnapCenter ではレイテンシを回避するためにシックプロビジョニング LUN のみがサポートされます。

- VMware の仮想ボリューム (VVOL)

最初に VVOL ストレージシステムを ONTAP Tools for VMware vSphere に追加してから、VVOL ストレージシステムを SnapCenter Plug-in for VMware vSphere に追加する必要があります。

詳細については、を参照してください "["VMware vSphere 向け ONTAP ツール"](#)

作業を開始する前に

ESXi サーバ、SnapCenter VMware プラグイン、および各 vCenter は、同時に同期する必要があります。ストレージを追加しようとしても、vCenter の時刻設定が同期されていないと、Java 証明書エラーが表示されて処理が失敗することがあります。

このタスクについて

SnapCenter VMware プラグインは、直接接続された Storage VM と Storage クラスタ内の Storage VM でバックアップおよびリストア処理を実行します。



SnapCenter VMware プラグインを使用して VMDK 上のアプリケーションベースのバックアップをサポートしている場合は、SnapCenter の GUI を使用してストレージクレデンシャルを入力し、ストレージシステムを登録する必要があります。

- リンクモードの vCenter では、各 vCenter にストレージシステムを個別に追加する必要があります。
- Storage VM の名前は管理 LIF に解決できる必要があります。

SnapCenter で Storage VM 名に etc ホストエントリを追加した場合は、それらのエントリが仮想アプライアンスからも解決できることを確認する必要があります。

管理 LIF に解決できない名前の Storage VM を追加すると、プラグインがその Storage VM 上のデータストアまたはボリュームを検出できないため、スケジュールされたバックアップジョブが失敗します。この場合は、Storage VM を SnapCenter に追加して管理 LIF を指定するか、Storage VM を含むクラスタを

追加してクラスタ管理 LIF を指定してください。

- ストレージクレデンシャルは、SnapCenter VMware プラグインの複数のインスタンス間、または Windows SnapCenter Server と vCenter 上の SnapCenter プラグイン間で共有されません。

#### 手順

- vSphere Web Client の左側のナビゲーションペインで、\*ストレージシステム\*をクリックします。
- ストレージシステムページで、をクリックします \*追加\*。

- Add Storage System \* ウィザードで、次の表に示す基本的な Storage VM またはクラスタ情報を入力します。

フィールド名	操作
ストレージシステム	ストレージクラスタまたは Storage VM の FQDN または IP アドレスを入力してください。SnapCenter VMware プラグインは、異なるクラスタ上で同じ名前のストレージシステムを複数サポートしていません。SnapCenter でサポートされる各ストレージシステムには、一意のデータ LIF IP アドレスが必要です。
プラットフォーム	プラットフォームを選択します。
ユーザ名	Storage VM へのログオンに使用する ONTAP ユーザ名を入力します。
パスワード	Storage VM のログオンパスワードを入力します。
プロトコル	ストレージプロトコルを選択します。
ポート	ポート 443 (デフォルト) またはポート 80 を選択して vCenter と通信します。ポート 443 は、VM およびデータストアのバックアップとリストアの処理を実行する際に、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 用 Storage VM ホストと vCenter 間の通信に使用されます。VVol VM を保護する場合は、デフォルトのポート 443 を選択する必要があります。
タイムアウト	vCenter が処理をタイムアウトするまで待機する秒数を入力します。デフォルトは 60 秒です

フィールド名	操作
優先 IP	Storage VM に複数の管理 IP アドレスがある場合は、このチェックボックスをオンにして、SnapCenter で使用する IP アドレスを入力します。* 注：* IP アドレスを入力するときは角かっこ（[]）を使用しないでください。
SnapCenter サーバイベントを syslog に記録します	SnapCenter VMware プラグインのイベントをログに記録するチェックボックスをオンにします。
処理に失敗した場合に AutoSupport 通知をストレージシステムに送信します	失敗したデータ保護ジョブに関する AutoSupport 通知を有効にする場合は、このチェックボックスをオンにします。また、Storage VM で AutoSupport を有効にし、AutoSupport E メールを設定する必要があります。

4. [追加 (Add)] をクリックします。

ストレージクラスタを追加すると、そのクラスタ内のすべての Storage VM が自動的に追加されます。自動的に追加された Storage VM （「暗黙的な」 Storage VM とも呼ばれます）は、クラスタのサマリーページに、ユーザ名ではなくハイフン（-）で表示されます。ユーザ名は、明示的なストレージエンティティに対してのみ表示されます。

## ストレージシステムを管理

VMware vSphere Web Client を使用して VM やデータストアをバックアップまたはリストアするには、ストレージを追加する必要があります。

### Storage VM を変更します

VMware vSphere Web Client を使用して、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere に登録されているクラスタおよび Storage VM の構成を変更し、VM のデータ保護処理に使用できます。

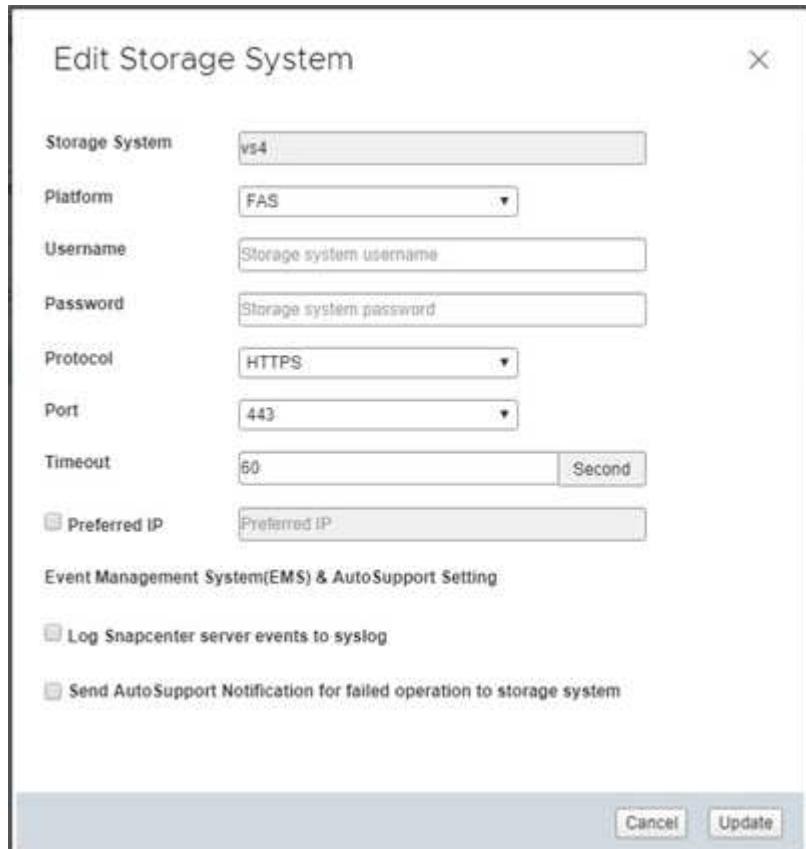
クラスタの一部として自動的に追加された Storage VM （暗黙的な Storage VM とも呼ばれます）を変更すると、その Storage VM は明示的な Storage VM に変更され、そのクラスタ内の残りの Storage VM を変更することなく個別に削除できます。Storage Systems ページでは、暗黙的な Storage VM の場合、ユーザ名が “-” と表示されます。ユーザ名はクラスタリスト内の明示的な Storage VM に対してのみ表示され、ExplicitSVM フラグは true に設定されています。すべての Storage VM は、関連付けられたクラスタの下に常に表示されます。



SnapCenter の GUI を使用してアプリケーションベースのデータ保護処理用に Storage VM を追加した場合は、追加した Storage VM を変更するために同じ GUI を使用する必要があります。

### 手順

1. VMware vSphere Web Client の左側のナビゲータペインで、\* ストレージシステム \* をクリックします。
2. [\* ストレージシステム \*] ページで、変更する Storage VM を選択し、をクリックします \* 編集 \*。
3. [Edit Storage System\*] (ストレージ・システムの編集) ウィンドウで新しい値を入力し [Update] (アップデーター) をクリックして変更を適用します



## Storage VM の名前を変更します

VM をリソースグループに追加したあとに名前を変更すると、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphere が名前ではなく VM UUID に対応しているため、リソースページに新しい名前が表示されないことがあります。

リソースページに新しい VM の名前が表示されるようにするには、次の手順を実行します。

1. リソースグループを編集して VM を削除する。
2. VM の名前を変更します。
3. リソースグループに VM を再度追加します。

## Storage VM を削除します

VMware vSphere Web Client を使用して、 vCenter のインベントリから Storage VM を削除できます。



SnapCenter の GUI を使用してアプリケーションベースのデータ保護処理用に Storage VM を追加した場合は、追加した Storage VM を変更するために同じ GUI を使用する必要があります。

作業を開始する前に

Storage VM を削除する前に、 Storage VM 内のすべてのデータストアをアンマウントする必要があります。

このタスクについて

削除する Storage VM に存在するバックアップがリソースグループに含まれていると、そのリソースグループ

のそれ以降のバックアップは失敗します。

#### 手順

1. VMware vSphere Web Client の左側のナビゲータペインで、 \*ストレージシステム\* をクリックします。
2. [\*ストレージシステム\*] ページで、削除する Storage VM を選択し、 [\*削除\*] をクリックします。
3. [ストレージ・システムの削除] 確認ボックスで [ストレージ・システムの削除\*] のチェックボックスをオンにし '[はい\*]' をクリックして確定します
4. 削除した Storage VM が ESXi 6.7 Server で管理されていた場合は、 Web Client Service を再起動する必要があります。

"[VMware vSphere Web Client Service を再起動します](#)"。

## 設定されているストレージタイムアウトを変更します

以前にバックアップが正常に実行されていたとしても、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphere がストレージシステムの待機時間が設定されたタイムアウト時間を超えると、バックアップが失敗することがあります。この状況が発生した場合は、設定されているタイムアウト値を大きくすることができます。

「Unable to discover resources on SCV : Unable to get storage details for datastore <xxx> ...」というエラーが表示されることがあります

#### 手順

1. VMware vSphere Web Client で、 \*Storage Systems\* をクリックします。
2. Storage Systems (ストレージ・システム) ページで、変更するストレージ・システムを選択し、 \*Edit (編集)\* をクリックします。
3. [タイムアウト] フィールドで、秒数を増やします。



大規模な環境では 180 秒を推奨します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。